

事業所名

まっくびーカレッジ 太閤通校

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

3 月

14 日

法人（事業所）理念		社会の正しき発展に寄与すると共に志を同じうする者との相互繁栄と清福を期し、無限の可能性をもつ価値ある企業であり続ける						
支援方針		こんなことでいつもつまずいてしまう、どうしてもここで先へ進めない、どうしてもここが苦手など、お子様が困ってしまうことは、それぞれに違いがあります。そして、その困り感には、お子様ご自身が一番苦しんで、辛い思いをしている部分でもあります。私たちまっくびーカレッジでは、そんなお子様の苦しんでいる部分に寄り添い、どんなふうにも支援をさせていただくことが良いのかを模索しながら、個々にアプローチをさせていただきます。同時に、お子様の困っている部分だけではなく、それぞれ誰もが持つ「強み」（得意なことや、好きなこと）を最大限に引き出し、活かしていくことで、自分を肯定できる気持ちに自信につなげてほしいと願っています。お子様には、笑顔でいきいきと過ごしてもらいたい、嬉しいと感じられる「達成感」を心に抱いて、お家へ帰っていただきたい、そして先の未来一人になった姿を想像し、慈しみを持って微力ながら支援をさせていただけたらと思っています。						
営業時間		9 時	0 分	18 時	30 分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	お子様の健全な成長と健康の維持のため必要な支援を進めていきます。 集団の生活の中で必要な生活スキル(食事、排せつ、脱衣)等を個人のレベルに合わせて生活に合わせた行動ができるように職員が手助けしたり声をかけたりすることで自立への一歩になるような支援を進めています。 環境の構造化を進めることで目的に応じた場所の使い分けや物を視覚的に物をわかりやすく配置することで遊び道具や食玩具の片づけが習慣化できるようにしています。						
	運動・感覚	室内遊び…マット運動、鉄棒、ボーリング、跳び箱運動、縄跳びを行うことで体のバランス感覚や手先の繊細な運動などの力を育てられるような支援プログラムの実施。 外遊び…近隣の神社の広場を利用した集団遊びによる体の運動。近隣の遊具施設(戸田川緑地等)でのアスレチックでの集団遊びを通して運動療育の実施。 工作や芸術…季節感のある作品を作ることで手先の運動や興味の広げ利につなげていけるような支援プログラムの実施。						
	認知・行動	おやつ作り…季節に合わせてお菓子や長期休暇のタイミングで時間をかけて食に興味を持ち、食への偏りを減らしていけるような支援プログラムの実施。 タイムスケジュール…時計の絵を用いた環境の構造化による切り替えのしやすさや時計の読むことができない利用者様にはタイマー等を利用して生活におけるリズムを作る支援の実施。						
	言語 コミュニケーション	様々な年齢や事業所の垣根をこえた合同プログラムによるコミュニケーション能力の獲得(季節イベント、お出かけプログラム) 絵カード等を用いた簡単なコミュニケーション能力の獲得に向けた支援の実施。 普段の集団生活の中での必要なコミュニケーション能力を獲得できるように支援員が仲介をしつつ発語を促せるようにしています。						
	人間関係 社会性	毎日の集団プログラムの中で将来社会で必要になってくるスキル(ルールを守る、相手の話を聞く)を獲得できるように支援をしている。 買い物学習やお出かけプログラムなどで班ごとに分かれて集団で行動する経験を積むことができるように支援している。						
家族支援		定期的に送迎時などの時間を利用して保護者様とお話しをし、家庭やご本人等の悩みや困りごとをヒアリングする時間を作っている。			移行支援		保育園、小中学校などの関係機関との連携	
地域支援・地域連携		お出かけのプログラムを通して様々な場所でその地域の方と買い物などを通じて交流ができるような支援。 児童館や公園などに出かけ、様々な方との交流経験。			職員の質の向上		定期的な研修の実施 毎日の定例ミーティングによる利用者様の情報共有とより良い支援方針の策定	
主な行事等		初詣、進級パーティ、プール、ハロウィンパーティ、紅葉狩り、クリスマスパーティ、雪遊び、遠足(月一回土曜日)、						